



竹内 ゆう子  
連絡先 090-8519-7017



からさわ 地平  
090-3834-7740

## 府中市が「下水道使用料」の見直しを検討中

### 都は自治体への「負担金」単価引き上げをやめるべき！

調布市では 28.9%の  
値上げを発表

府中市は来年以降の「下水道使用料の見直し」の検討を開始すると発表しました。その理由となっているのが、東京都に納める「流域下水道維持管理負担金」の引き上げが見込まれていることです。

同負担金は、府中市の下水処理を担っている「北多摩一号水再生センター」の処理費用を自治体が納め、下水道使用料として市民が負担するものです。東京都下水道局による「令和7年度下水道主要事業計画」では、「物価上昇等の影響により、維持管理費、建設改良費ともに必要経費が増加傾向にあるなど、厳しい状況にある」とされており、来年度負担金単価の増額が見込まれています。

同じ下水道処理区の調布市では、都の方針を受けて来年度から下水道料金28.9%の値上げを発表しています。

### 大型事業よりインフラ整備に予算を！ 都は市民負担増を避ける緊急対策を

市民のみなさんに不安を与えている地下インフラ老朽化対策は待ったなしの課題です。

一方、東京都はお台場の巨大噴水に予算26億円をはじめ、都心部開発に240億円もの税金を投じています。日本共産党都議団は、老朽化対策の予算を10倍に増やすよう、都に求めてきました。都の財政力を生かせば、インフラ整備と市民負担軽減の両立は十分可能です。

バブル期を超える  
税収入で都予算  
約17兆円

築地・新宿など  
都心部開発に…

240億円

外環道など不要不急の  
大型道路建設に…

510億円

日本共産党「都議選政策アピール」より引用

## 「深刻な物価高騰から市民の生活をまもる緊急支援策を求める申し入れ」 をおこないました

5月13日に、日本共産党府中市議団は市民の暮らしと生業をまもる市独自の支援求めて高野市長に申し入れをおこないました。加えて、消費税減税と年金額など引き上げを国に求めること、予算委員会で「運賃の改定は必須である」と言及があったちゅうバス運賃と下水道料金の値上げ中止を要望しました。

申し入れに対して市長からは、物価高騰対策として市独自の政策について、検討を始めている旨の返答がありました。要望実現に向けて、市議会でも引き続き求めていきます。



### 深刻な物価高騰から市民の生活をまもる緊急支援策を 求める申し入れ(要望5項目)

1. 物価高騰に対する緊急対策として、低所得者、高齢者、子育て世代等へのお米券の配布、電気・ガス・水道料金の補助など市独自の支援策を検討し、直ちに実施すること。
2. 物価高騰、米トランプ関税による市内中小事業者に対する影響の調査などをおこない、支援策を実施すること。
3. 国に対して、緊急に消費税5%の引き下げ、インボイス中止を求めること。年金額、生活保護費の基準額を物価高騰に見合う水準への引き上げを求めること。
4. 都に対して、下水道事業に対する自治体の負担軽減を求め、下水道使用料の値上げではなく引き下げをおこなうこと。
5. 物価高騰による市民のくらしの影響を踏まえて、「ちゅうバス」運賃値上げの議論をやめること。都に対して、コミュニティバス維持のため自治体支援実施を求めること。

ご意見・ご要望をお寄せください

FAX 042-364-6590 Mail: jcp.fuchushigidan@gmail.com

過去の議会活動・ニュースは  
ホームページで公開しています。

<http://jcp-fuchu.com/fuchushigidan/>

